



NP アツヌリ

施工要領書

【改定】2020年12月

※本要領書の内容は、断りなく変更することがありますので、ご了承ください。

Best Walls, Best Life

しっくいと共に

日本プラスター株式会社

NP アツヌリは、手摺天端や床面の補修において、20mm までの一発厚付け施工が可能な製品です。また壁面の下地調整やジャンカ補修、P コン埋めなど様々な施工部位で使用できる多機能型プレミックスモルタルです。

<用途, 適用下地>

用 途：床面・天端の補修，RC 躯体の下地調整，ジャンカ補修，P コン埋め
適用下地：コンクリート，モルタル，PCa 板，ALC 板，ブロック

<作業手順>

1. 下地処理

下地のレイタンス，脆弱層，離型剤，油分，汚れ等を入念に除去し，水洗い清掃等を行うなどの処理をして，健全な下地状態としてください。高強度コンクリートについては，サンダ掛けもしくは高圧洗浄を行って下さい。

2. シーラー塗布

下地処理後，吸水調整材として NP シーラックを下表に従って希釈し，刷毛等を使用して下地に擦り込むように塗布して下さい。なお，次工程までの工程間隔は，塗布した NP シーラックの色が乳白色から透明になるまで乾燥させて下さい。

適用下地	標準配合比	塗布回数	標準塗布量
コンクリート壁， PCa 板	5 倍希釈 シーラック 1：清水 4	1 回	150 g/m ²
コンクリート床	4 倍希釈 シーラック 1：清水 3	1 回	200 g/m ²
ALC 板，ブロックなど 吸水の激しい下地	4 倍希釈 シーラック 1：清水 3	2 回	400 g/m ²

3. 練り混ぜ

NP アツヌリ 1 袋に対して、NP シーラックと清水の所定量を加え(下表参照)、モルタルミキサーにて十分に練り混ぜて、施工軟度に調整してください。

条件	施工厚み	NP アツヌリ	NP シーラック	清水
塗り厚が 厚い場合	5～20mm	1 袋	1 kg	6.0～6.5 <small>リットル</small>
塗り厚が 薄い場合	0.5～5mm 未満 (薄塗り部を生じる時)	1 袋	2 kg	5.5～6.0 <small>リットル</small>

4. 塗り付け

- 1) コテで十分に力を入れて下地に擦り付けるように塗り付け、その後所定の厚さになるよう塗り付けて下さい。
- 2) 水引き具合をみて、最終仕上げに合わせて金ゴテや木ゴテで押さえて下さい。

一回の塗り付け厚さ

部位	塗厚の範囲
床面・手摺天端 壁面(部分補修)	0.5 ～ 20mm
壁面(全面塗り)	0.5 ～ 10mm

※標準塗厚を越える場合は 2 回以上に分けて塗り付け、その際の工程間間隔は通常 3 日以上、冬期 7 日以上として下さい。

5. 養生

- 1) 通風や直射日光による塗り付け面の急激な乾燥を防止するため、屋内は開口部の閉鎖、屋外ではシート掛けなどの養生を行ってください。
- 2) 仕上げ材施工までの養生期間は通常 7 日以上、冬期 14 日以上としてください。
- 3) 乾燥が激しい場合は、塗り付け翌日以降に十分な散水養生を行ってください。塗厚が 3mm 以下の場合には特にドライアウト現象を生じやすいので、十分な散水養生を行うと共に釘やドライバーで表面を軽く擦り十分な表面強度があることを確認して次工程に移って下さい。

<施工上の注意>

- 1) 耐久性を重視して組成された製品ですので、現場にて砂、セメント等を追加混入することは絶対に避けて下さい。
- 2) 必ず NP シーラックの塗布・混入を行ってください。他の接着増強剤をご使用の場合、耐久性が落ちることがあります。
- 3) 冬期、気温が 5℃以下になる場合は、施工を見合わせるか、採暖を要します。
- 4) 施工時および施工後の硬化前に降雨、降雪の恐れがある場合は、施工を中止して下さい。
- 5) 混練材料は加水後 1 時間以内に使用し、練足しおよび水を加えての練戻しは避けて下さい。
- 6) 袋の表紙に製造年月日が記載されております。製造日から 6 ヶ月以上のものは使用しないでください。



日本プラスター株式会社

| 本社・工場 / 〒327-0311 栃木県佐野市多田町188-2
| TEL:0283-62-6511(代) FAX:0283-62-8851
| 東京営業所 / 〒110-0015 東京都台東区東上野3-38-4
| TEL:03-3831-3239(代) FAX:03-3835-2048
| 西日本営業所 / 〒604-8305 京都府京都市中京区市之町170
| TEL:075-406-5031(代) FAX:075-406-5032